

# TOTO


## 密結形ロータンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。



- この説明書では商品を安全に正しく取り付けにたき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
---	----------------------------------	---	---------------------------------------

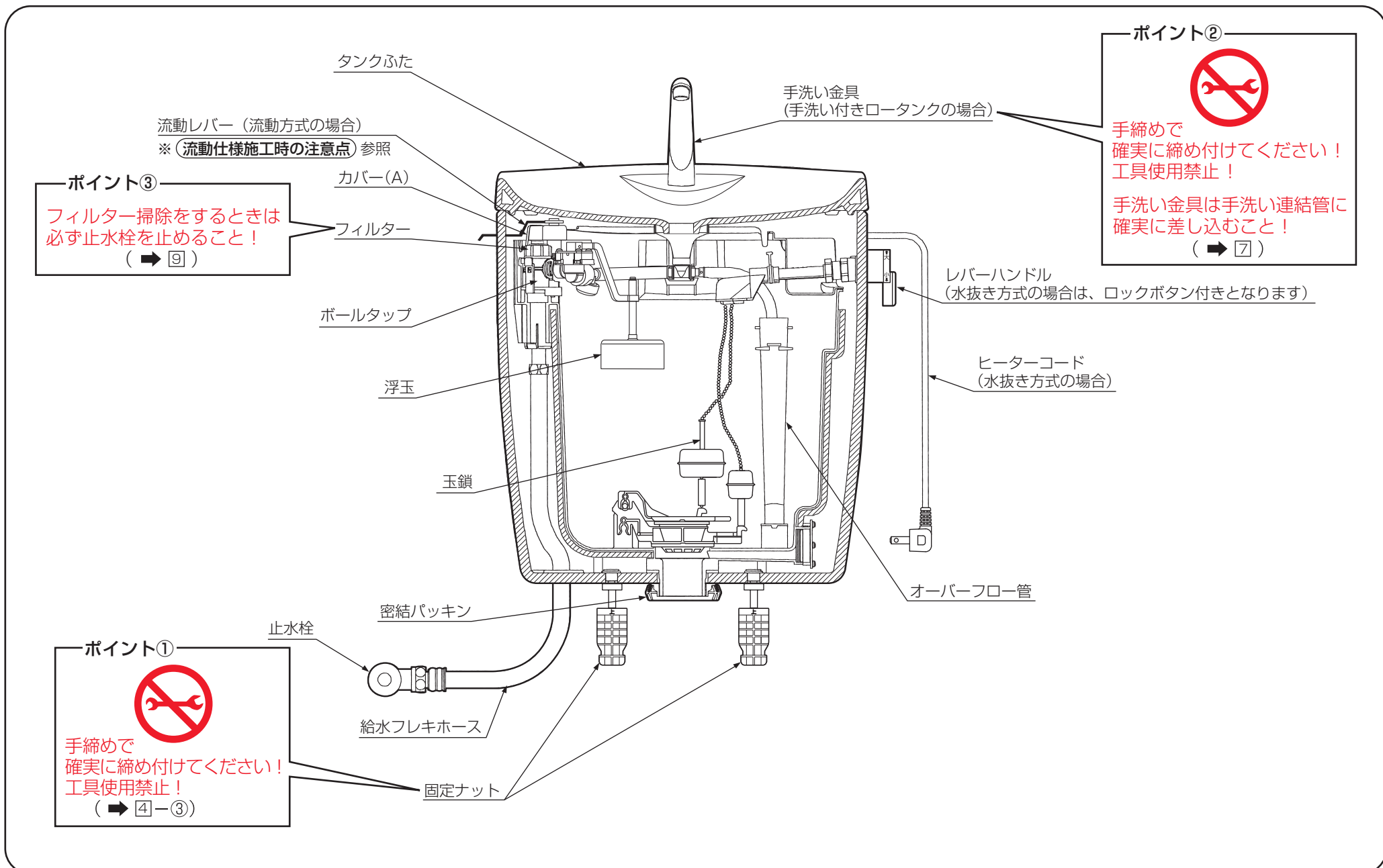
注意	
	<p><b>陶器に衝撃を与えない</b> 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。</p> <p><b>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない</b> 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらし、財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p><b>フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う</b> 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。</p>

### 2 同梱部品の確認

■陶器タンクから内部金具を取り出します。  
※部品があるか、下記表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考	包装
密結パッキン	1個			小袋
手洗い金具	1セット		手洗い付きの場合のみ	大袋
固定ナット	2個			
ウォシュレット用給水ホースクランプ	1個		ウォシュレットの給水ホース引っ掛け用 → [1]	
コードクランプ	2個		水抜き方式の場合のみ (小袋に同梱)	
止水栓	1個		止水栓付きの場合のみ	箱入
施工説明書	1部	本紙		
取扱説明書	1部			小袋

### 3 各部の名称と施工のポイント

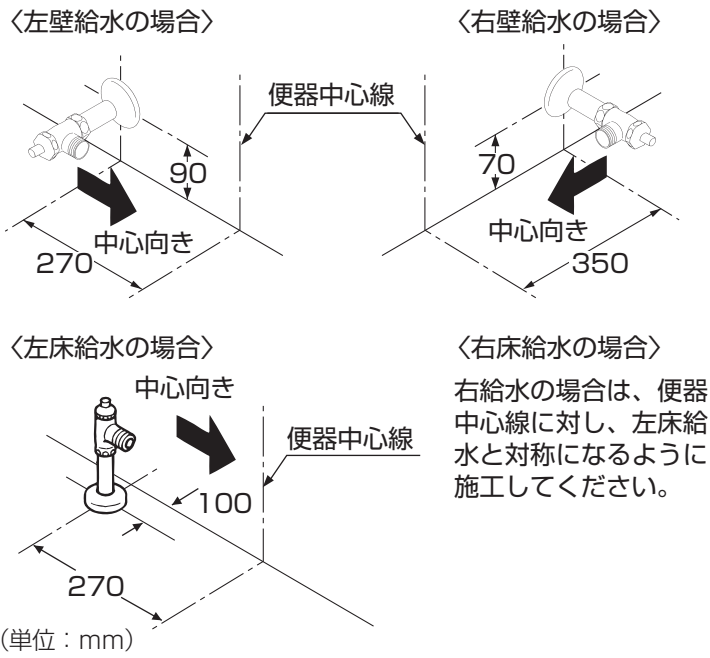


# 4

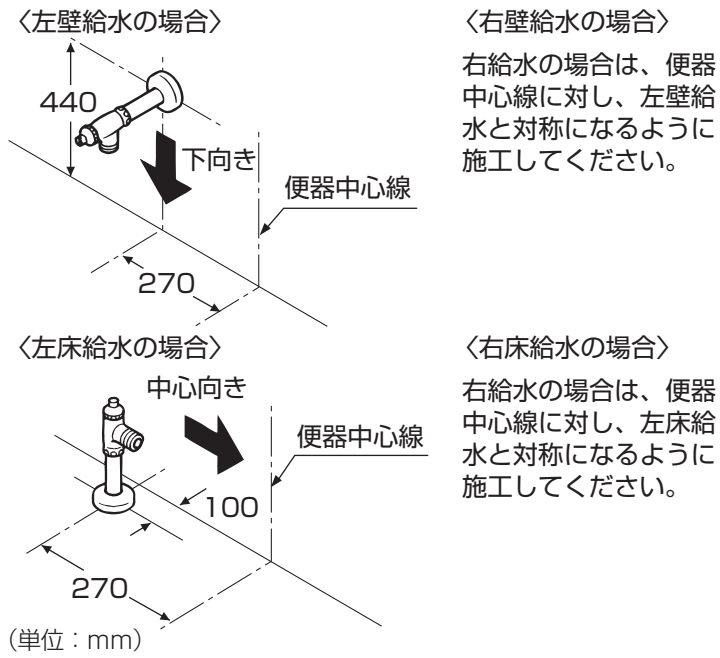
## 施工要領

### ① 止水栓の向き

#### 水抜き方式



#### 流動方式



※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。  
 ※流動方式壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付けように、止水栓の接続口の向きを調節してください。  
 ※水抜き方式の場合、給水フレキホースの水抜き勾配を確保できるように、取り付けてください。

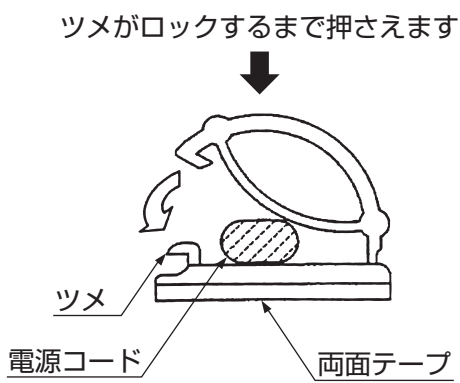
### ② 便器の取り付け

便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

### ③ ヒーターコードの固定 (水抜き方式のみ)

①コードクランプ裏面の剥離紙をはがし、両面テープ面をタンク裏面にしっかりと押さえ付けて貼る。

②電源コードをコードクランプに通し、コードクランプのツメが「カチッ」とロックするまで押さえる。

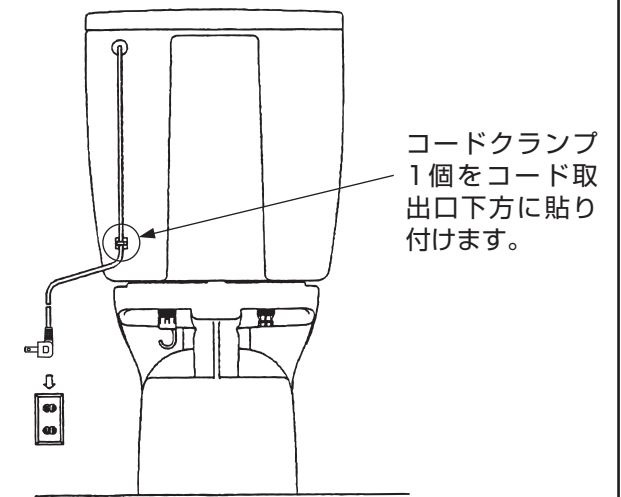


⚠ 注意	
禁止	取り付け後、コードを無理に引っ張らない コードクランプがはがれ落ちてしまうおそれがあります。
	施工後、コードクランプのツメを外す場合には、手で行わない マイナスドライバーを使用すると安易に外すことができます。
必ず実行	貼付面に水分やほこりがないようにする タンク貼付面をよくふいてから貼ってください。

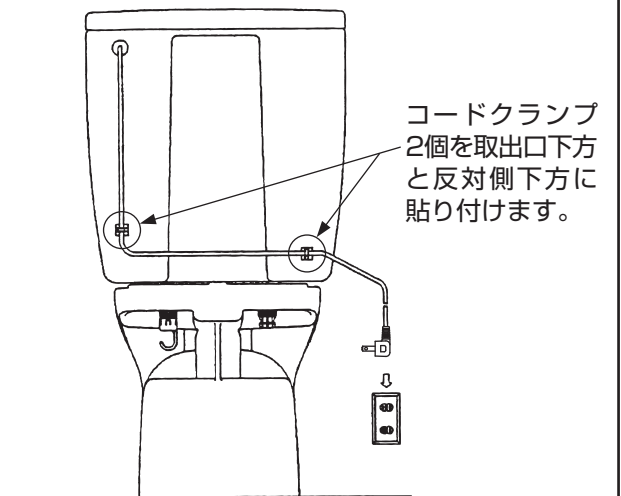
#### コードの配線例

(下図のタンクは背面より見た場合を示します)

<コンセントが右側(便器正面より見たとき)の場合>

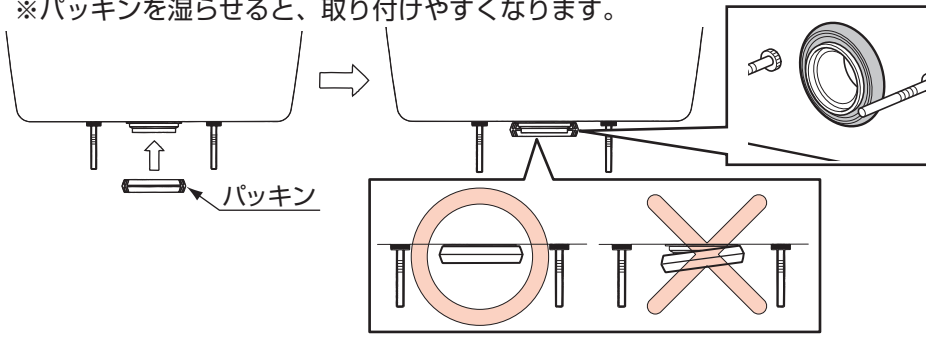


<コンセントが左側(便器正面より見たとき)の場合>



#### 4 ロータンクの取り付け

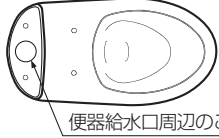
- ①ロータンクに密結パッキンを取り付ける。  
※パッキンを湿らせると、取り付けやすくなります。



#### 注意

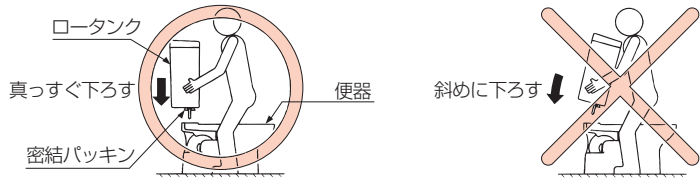
- 必ず実行**
- 同梱のパッキンの方向に注意して、上図のように取り付ける
  - パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する  
正しく取り付けないと水漏れします。

- ②ロータンクを便器に取り付ける。  
便器給水口周辺のごみなどを完全に取り除いたあと、ロータンクを便器に取り付けてください。



便器給水口周辺のごみを取り除く

- 下図のようにロータンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。  
※パッキンが落下した場合は再度タンクに取り付けてください。



#### 注意

- 必ず実行**
- パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- 禁止**
- ロータンクを斜めに下ろさない  
パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

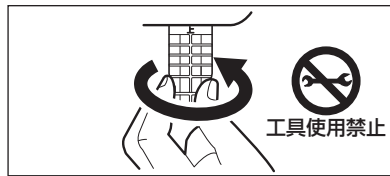
- ③固定ナットでロータンクを固定する。

#### 注意

- 必ず実行**
- 左右の固定ナットを確実に締めること  
左右の固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

固定ナットを手締めで回らなくなるまでかたく締め付けます。

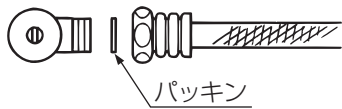
- ※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



- 注意**
- 固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。  
工具を使用すると破損するおそれがあります。

#### 5 給水フレキホースと止水栓の接続

- 給水フレキホースにねじれ、折れなどのないように接続する。
- パッキンを右図の位置に必ず組み込む。

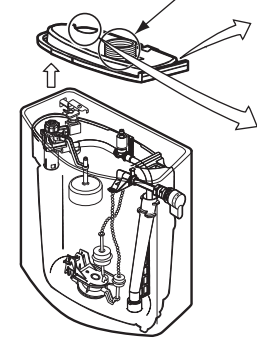


#### 6 止水水位の確認

- ①カバー (A) をいったん外す。

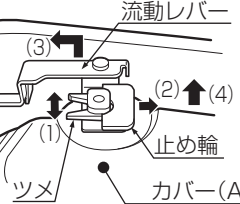
**注意** カバー(A)を取り出し後、床などに置く場合は、整流ジャバラ部に荷重がかからないように置いてください。

整流ジャバラ部



水抜き方式の場合 カバー (A) を持ち上げてそのまま外します。

流動方式の場合 ※流動方式の場合は、流動レバーを外さないとカバー(A)が外せないので注意。  
流動レバー (1) 止め輪のツメ部分を広げます。  
(2) 止め輪をスライドさせ、外します。  
(3) 流動レバーを持ち上げ、外へ逃がします。  
ツメ カバー(A) (4) カバー(A)を持ち上げて外します。



(1) 止め輪のツメ部分を広げます。  
(2) 止め輪をスライドさせ、外します。  
(3) 流動レバーを持ち上げ、外へ逃がします。  
(4) カバー(A)を持ち上げて外します。

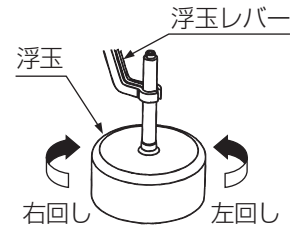
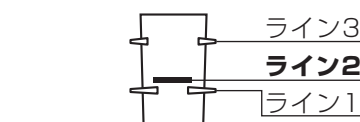
- ②手洗い連結管に手洗い金具を差し込む。  
(手洗い付きロータンクの場合)  
※手洗い金具を差し込まずに止水栓を開くと水が吹き出します。



- ④止水水位がライン2 (標準水位) になっているか確認する。  
止水水位を確認したら手洗い金具を抜いてタンクふたに取り付ける。

- ③止水栓を開く。

止水水位がライン2 (標準水位) にあっていない場合のみ下図の要領で調整してください。

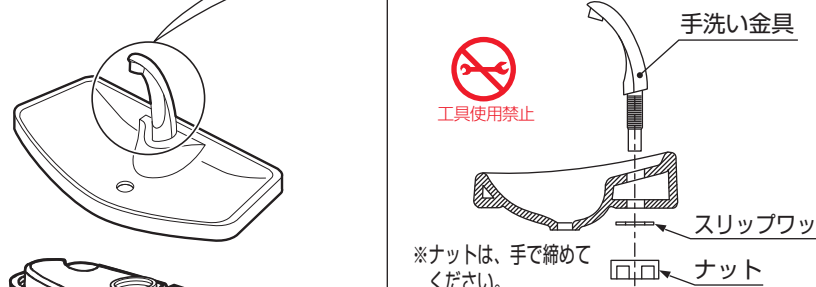


WL表示ラインは、オーバーフロー管の3カ所に止水水位をセットできる構造になっていますが、水量にあわせて所定の位置にセットして出荷しています。

- 右回し……止水水位が下がります。
- 左回し……止水水位が上がります。

#### 7 タンクふたの取り付け

- ①手洗い金具を取り付ける。  
(手洗い付きロータンクの場合)



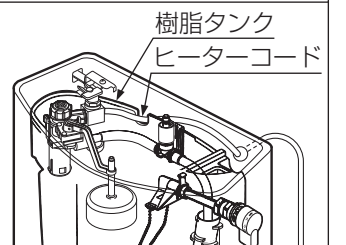
**工具使用禁止**

※ナットは、手で締めてください。

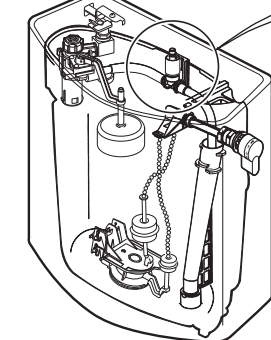
- ②カバー(A)を手順⑥と逆の手順で取り付ける。  
※流動方式の場合は必ず流動レバーを取り付けてください。

#### 注意

- 禁止**
- 水抜き方式の場合、樹脂タンクとカバーの間にヒーターコードを挟まない  
ヒーターコードが断線するおそれがあります。



- ③タンクふたを取り付ける。



載せる  
確実に差し込む

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

#### 注意

- 必ず実行**
- カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む  
水漏れの原因になります。

#### 8 取り付け完了後の確認

- 2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- 水の出が悪いときは、「⑨ フィルターの掃除」を参照して掃除を行う。

## 試運転後の確認事項

### 9 フィルターの掃除

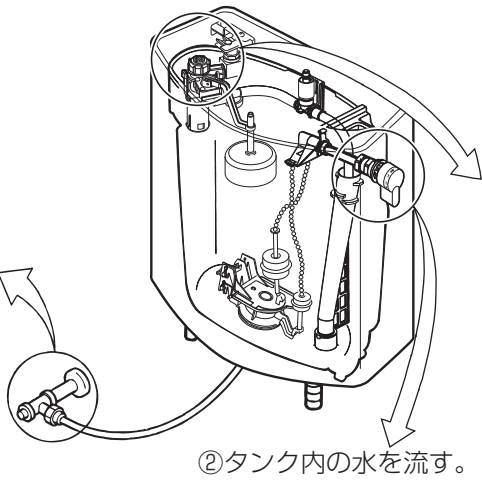
①止水栓を閉める。

#### 注意



必ず実行

- ・フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る  
手順を守らないと水漏れするおそれがあります。
- ・フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う  
水圧でフィルターが飛び出すことがあります。



②タンク内の水を流す。

③タンクふたを外す。

#### 注意

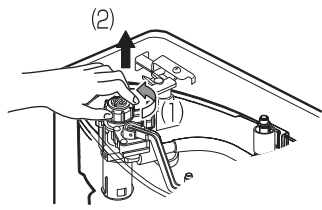


必ず実行

タンクふたは落とさないように注意する  
破損してけがをするおそれがあります。

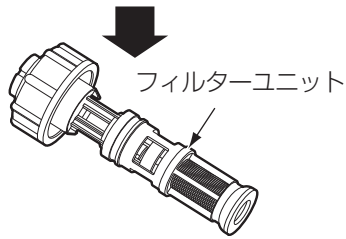
④カバー(A)を手順⑥-①を参照し、外す。

⑤フィルターを外す。

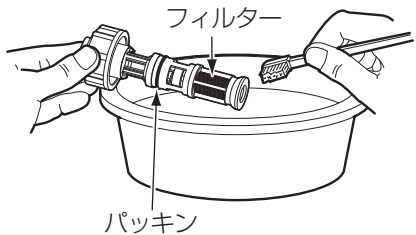


(1) 左に回してください。  
(抜けるまで回してください)  
(かたい場合があります。かたい場合は、上部のマイナス形状部分にマイナスドライバーを差し回してください)

(2) 引き抜いてください。



⑥フィルターの外側を掃除する。



※パッキンを傷付けないようにごみを取り除いてください。

⑦フィルターをつける。

掃除後は、逆の手順でフィルターをつけてください。  
フィルターは最後までしっかり締め付けてください。  
※工具を使用しないでください。

⑧作動の確認。

手洗い連結管を手でふさいでから(手洗い付きロータンクの場合)止水栓を開き、正常に作動するか確認してください。

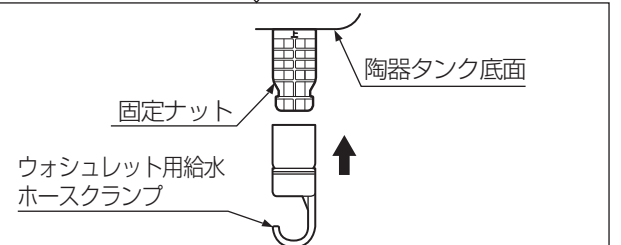
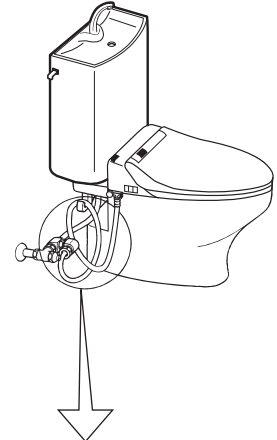
### 10 陶器表面の確認

・陶器表面に傷がないことを確認してください。  
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。  
スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。

・施工したあとは、タンクふたなどに油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。

### 11 ウォシュレット用給水ホースクランプの取り付け(ウォシュレットが取り付けの場合)

ウォシュレット用給水ホースの納まりがよくないときなどは下図のように使用する。



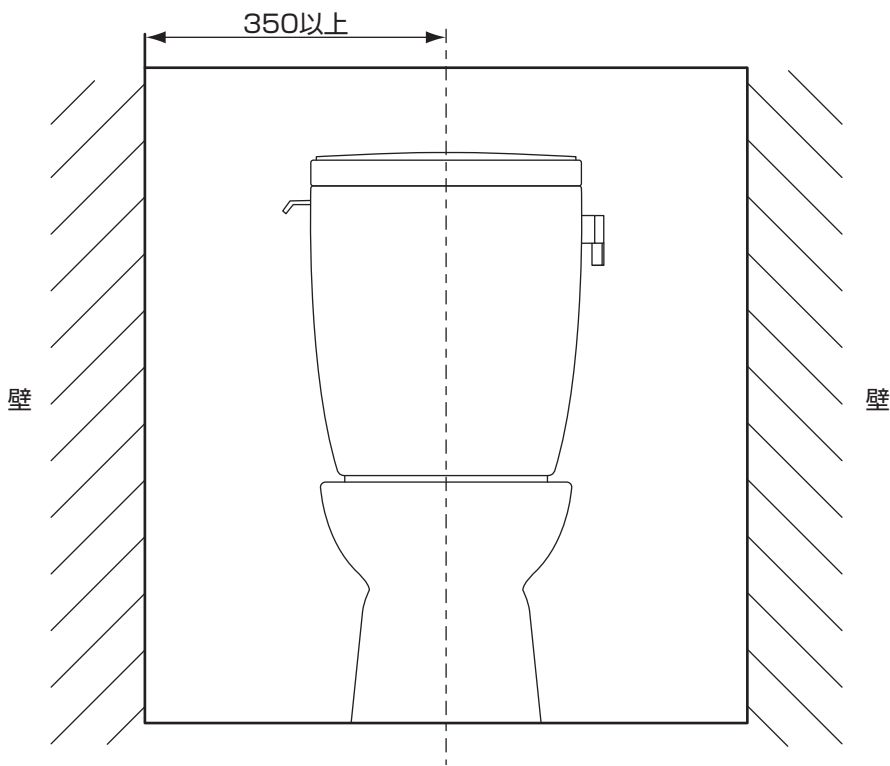
ウォシュレット用給水ホースクランプを固定ナットにはめ込みます。その後、ウォシュレット用給水ホースを引っ掛けてください。

## 流動仕様施工時の注意点

### <流動仕様の場合>

#### 注意

陶器中心から壁まで最低350mm以上確保すること。  
流動レバーが操作できない可能性があります。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※BL品 (BLマーク証紙貼り付け品) において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(一財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。

(一財)ベターリビング ホームページ…<http://www.cbl.or.jp/>

電話番号…03-5211-0559